

関西四大学「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書

2016年10月

近年、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生しており、薬物汚染が大きな社会問題に発展しています。警察庁刑事局組織犯罪対策部発表の「平成27年における薬物・銃器情勢」によると、薬物事犯の検挙人員はほぼ前年並みですが、2009年から年々減少が続いていた大麻事犯の検挙人員が、2014年から増加に転じ、2015年にはさらなる増加をみせています。同年における大麻事犯の検挙人員は全薬物事犯の15.5%（2014年度は13.4%）を占め、覚せい剤事犯に次ぐ薬物事犯として高比率で推移しています。また、20歳代以下の若年層の検挙人員は依然として高い構成比率で推移しており、その多くが初犯者であるとされています（2009年の大学生大麻事犯検挙人員は81名であり、そこから毎年減少し、2013年には23名となりましたが、2014年は27名、2015年には31名と増加に転じました。）。

また、昨今では乱用した者が重篤な症状を起こして救急搬送されたり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど社会問題化し、「危険ドラッグ」と総称された薬物について、政府は2014年4月に薬事法を改正し、対策を強化しています。その結果、危険ドラッグの使用が原因と疑われる死亡事案が大幅に減少するなど、その対策に一定の効果が上がっている一方、インターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

こうした状況の下で、薬物に関する教育活動が各大学において喫緊の課題となっていますが、2009年3月7日、関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動が大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から四大学共同の「薬物に関する意識調査」を行ってきました。同調査は入学当初の新入生に対し実施していることから、大学入学前、中学・高校等における啓発活動の成果が反映されていると考えています。この調査を継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。質問項目については、大麻が中心であったものから2015年に「危険ドラッグ」を含む、危険な薬物全般について調査する内容に変更しており、今回も同様に、四大学の入学直後の新生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新生たちが大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接しているほか、引き続き、ごく少数であっても薬物に接触する危険性があることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月の報告書から続くこの調査結果から目をそらすことなく、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2016年10月

関西大学学長	芝井 敬司
関西学院大学学長	村田 治
同志社大学学長	松岡 敬
立命館大学学長	吉田美喜夫

*2015年度の本調査より、昨今流通する違法薬物が多様化している実情に鑑み「大麻」や「危険ドラッグ」といった個別の薬物について聞くのではなく、共通質問4で示した薬物を「これらの薬物」と総称した上で意識調査を実施している。(質問5～23)

I 調査対象

対象者数 : 2016年度入学生 27,432名(関西四大学合計人数)
実施期間 : 各大学により定められた期間(2016年4月)
調査方法 : 紙媒体
回答数(率) : 23,833名(86.9%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

◇ 質問3 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

<回答> 非常に関心がある 2.8%(前年度比+0.2%)
ある程度関心がある 32.3%(前年度比+1.1%)
どちらともいえない 24.1%(前年度比+0.7%)
あまり関心がない 15.0%(前年度比-0.5%)
ほとんど関心がない 25.4%(前年度比-1.5%)

「関心がある」と回答した層は2009年から2014年まで減少傾向にあったが、昨年度に引き続き本年度は増加した。「関心がない」と回答した層も昨年度に引き続き減少傾向し、薬物問題への関心が上がったことが見受けられる。

◇ 質問4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

<回答> 1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) 76.8%(前年度比-0.4%)
2 覚せい剤(スピード、エスなど) 91.1%(前年度比-0.4%)
3 大麻(マリファナ、ハッシュシュなど) 92.3%(前年度比+0.6%)
4 コカイン 84.2%(前年度比+2.0%)
5 あへん類(ヘロインなど) 65.9%(前年度比-1.3%)
6 LSD 16.4%(前年度比-4.2%)
7 MDMA(エクスタシーなど) 68.0%(前年度比-0.9%)
8 いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど) 73.5%(前年度比-3.0%)
9 知っているものはない 3.0%(前年度比+0.3%)

◇ 質問13 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか(1つに○)

<回答> どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
91.5%(前年度比-0.7%)
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である
6.3%(前年度比+0.3%)

依然として、他人に迷惑を掛けなければ、使用は個人の自由であると考えている学生が一定数存在している。

◇ 質問15 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)

<回答> 誘われたり、勧められたことはない 93.9%(前年度比+0.2%)
購入を勧められたことがある 0.4%(前年度比-0.1%)

使用を誘われたことがある	1.0% (前年度比-0.1%)
わからない	3.3% (前年度比+0.1%)

◇ 質問 17 あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。
(1つに○)

<回答>	いない	84.4% (前年度比-0.1%)
	いる(いた)	3.2% (前年度比-0.3%)
	わからない	9.3% (前年度比-0.4%)

◇ 質問 18 【質問 17 で「2」に○をつけた人だけお答えください】
どの薬物でしたか。(複数回答可)

<回答>	1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	14.5% (前年度比-3.9%)
	2 覚せい剤(スピード、エスなど)	7.3% (前年度比-1.6%)
	3 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど)	23.4% (前年度比-6.6%)
	4 麻薬	2.8% (前年度比+0.1%)
	5 コカイン	4.3% (前年度比+0.5%)
	6 あへん類(ヘロインなど)	1.3% (前年度比+0.4%)
	7 LSD	1.4% (前年度比+0.8%)
	8 MDMA(エクスタシーなど)	1.9% (前年度比-1.2%)
	9 いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	8.2% (前年度比-6.5%)
	10 わからない	34.9% (前年度比+0.1%)

大麻と危険ドラッグの流通が共に減少しているものの、依然として大麻の比率が高いことがうかがえる。

◇ 質問 20 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
(複数回答可)

<回答>	1 警察の相談窓口	21.5% (前年度比-3.2%)
	2 行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	9.0% (前年度比-1.3%)
	3 医療機関の相談窓口	15.6% (前年度比-0.4%)
	4 民間の支援団体の相談窓口	7.5% (前年度比+0.1%)
	5 知らない	59.9% (前年度比+1.9%)

薬物に関する相談窓口について、ほぼ6割の学生が知らないと回答している。前年度と比較しても、警察、行政機関、医療機関の相談窓口の認知度が減少している。大学としてもこれらに関し情報発信を行っていく必要があると考える。

◇ 質問 21 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために
知りたいと思う情報は何か。(複数回答可)

<回答>	1 薬物乱用による健康被害情報	46.7% (前年度比-1.3%)
	2 薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	33.7% (前年度比-4.5%)
	3 国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	11.4% (前年度比-1.4%)
	4 医療機関や民間支援団体の取り組み情報	9.8% (前年度比-0.6%)
	5 特になし	24.9% (前年度比+1.5%)

◇ 質問 24 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○)

<回答>	1 知っている	65.6% (前年度比-5.9%)
	2 知らなかった	27.7% (前年度比+5.7%)

前年度と比較して、知っていると答えた学生が5.9%も減少している。危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要がうかがえる。

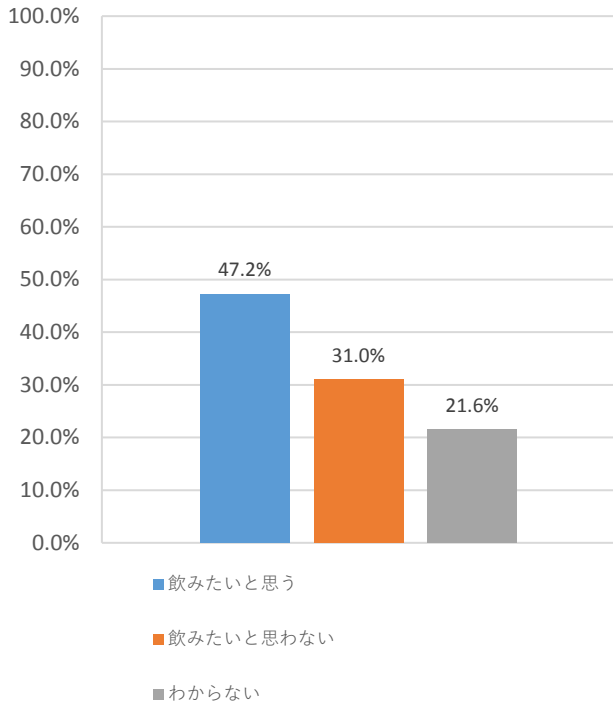
上記から、学生は薬物乱用問題についてある程度の関心をもっている現状の他、使用については個人の自由であると捉えている学生や、周囲に薬物を所持したり、使用したりしている学生を知っている学生が存在することが分かった。

また、危険ドラッグと称される薬物や薬品の所持・利用により罰せられることを知らない学生や、様々な相談機関の存在を知らない学生が増加している結果からは、薬物乱用防止の観点から必要な知識が新入生には不足していることが読み取れるとともに、質問 21 の結果は、学生に訴求力がある啓発活動を大学で策定する上での良い判断材料となっている。

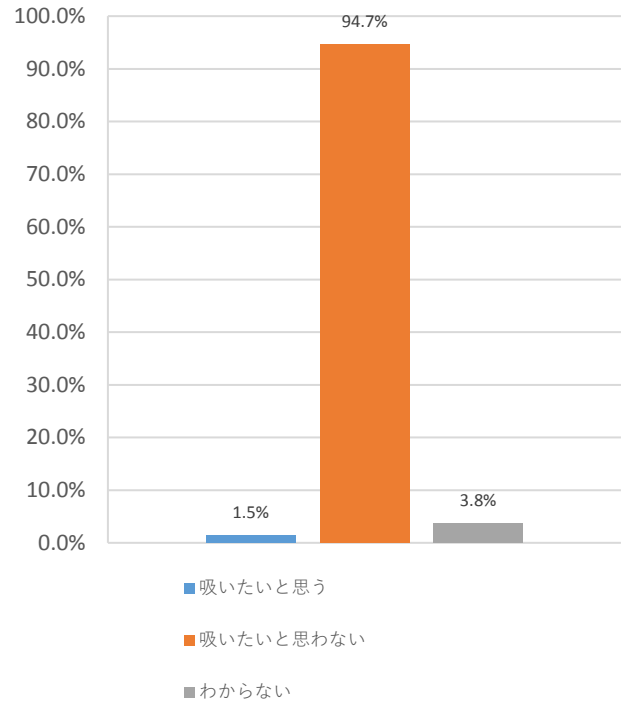
本結果から、薬物乱用問題に関し、社会的にどのような話題が取り上げられ、学生はどのような情報を得ているのか、その情報源や内容を分析し、さらに現在の学生に不足している知識を把握することで、各大学における効果的な啓発方法を検討していく必要があると考えられる。

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」

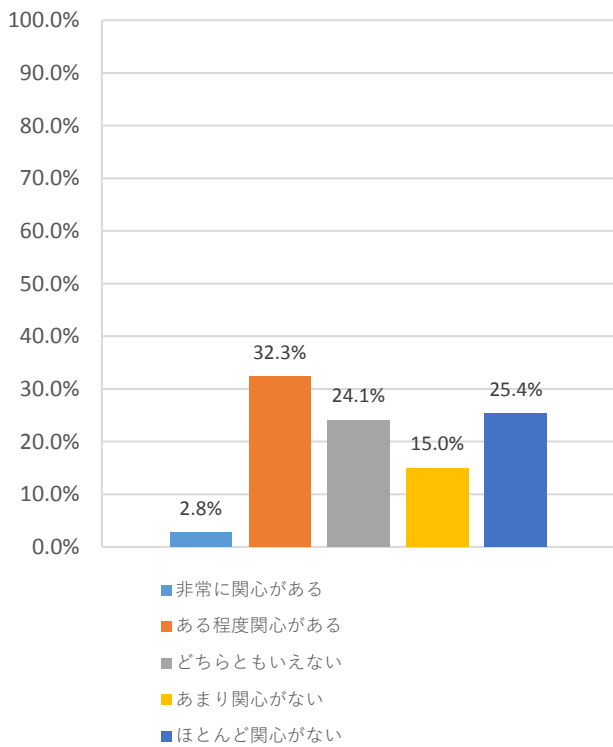
共通質問1 あなたは、お酒を飲みたいと思いますか。(1つに○) N=23833



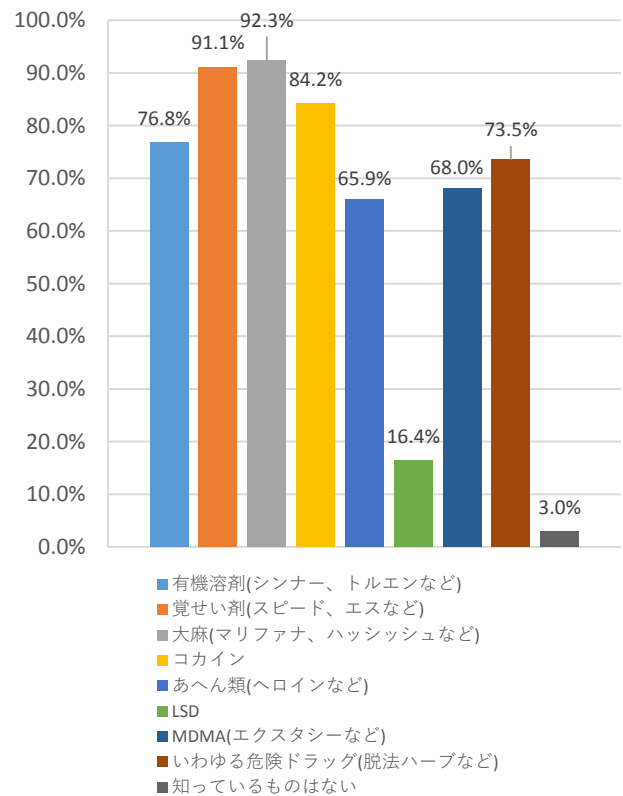
共通質問2 あなたは、煙草を吸いたいと思いますか。(1つに○) N=23833



共通質問3 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○) N=23833

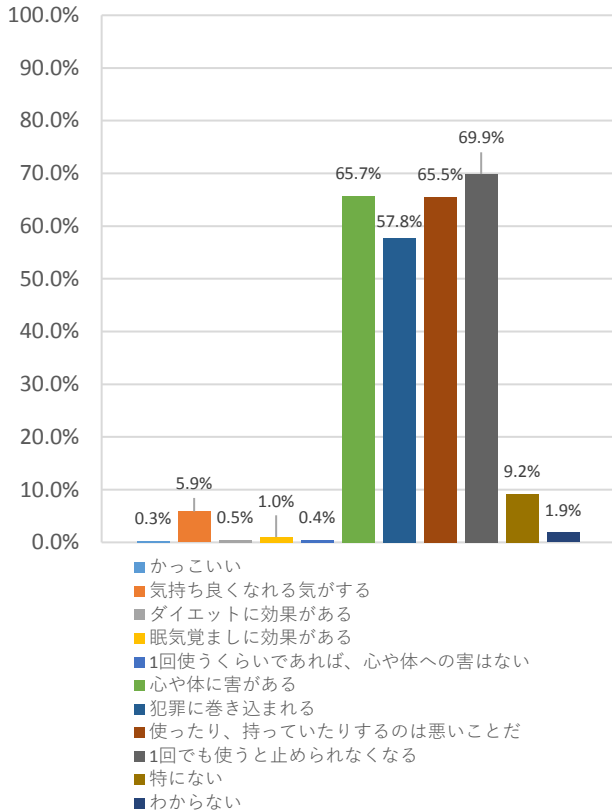


共通質問4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可) N=23833

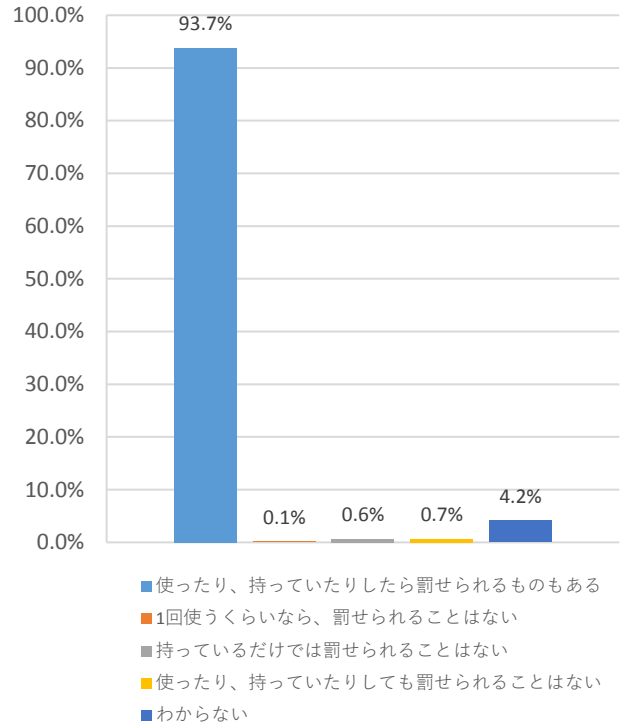


【次の質問以降は質問4であげた薬物についてお聞きします。】

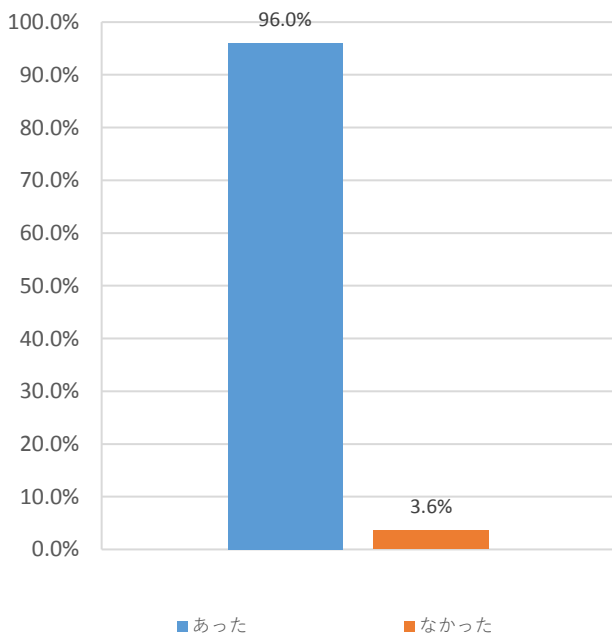
共通質問5 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)
N=23833



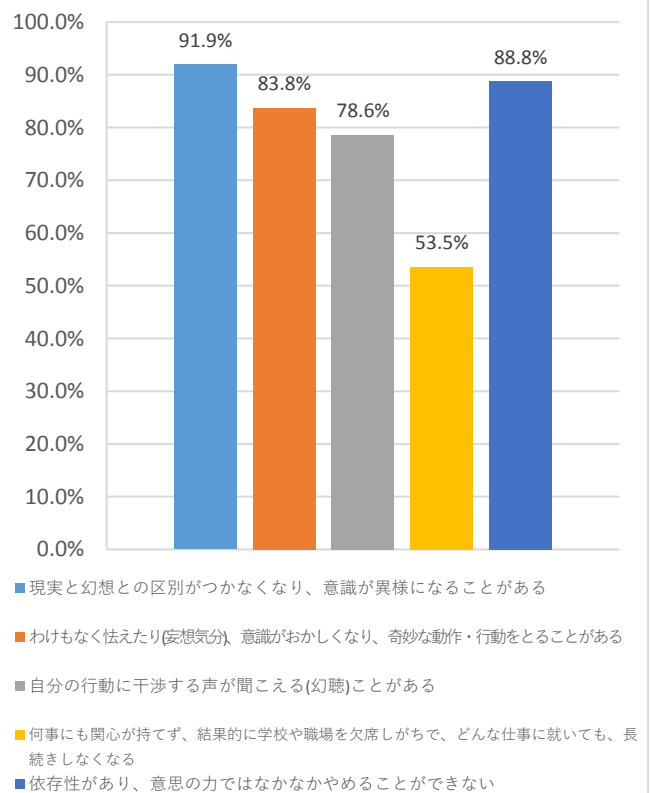
共通質問6 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなと思いますか。(1つに○) N=23833



共通質問7 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○) N=23833

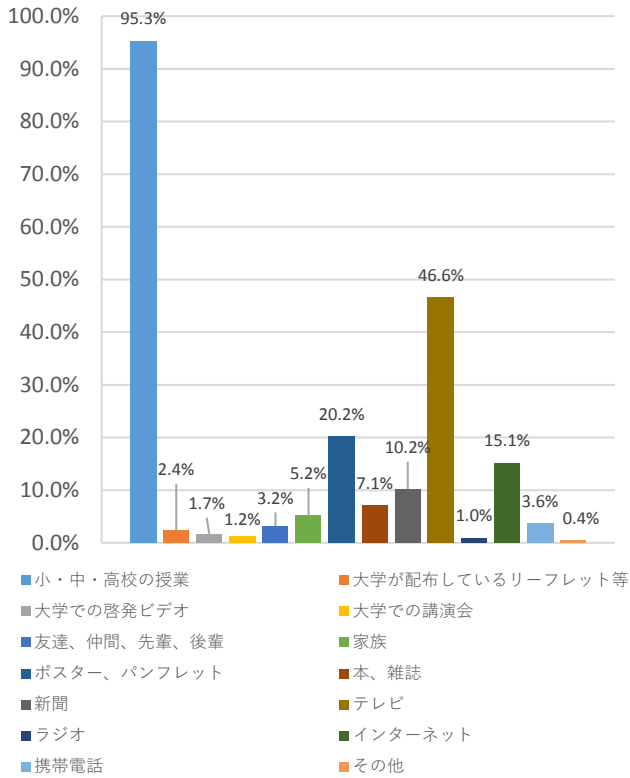


共通質問8 あなたは、薬物を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可) N=23833

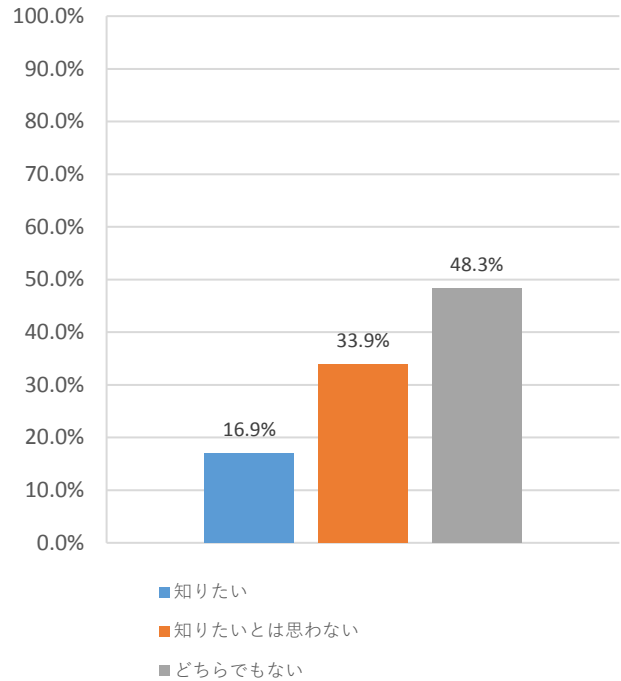


2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」

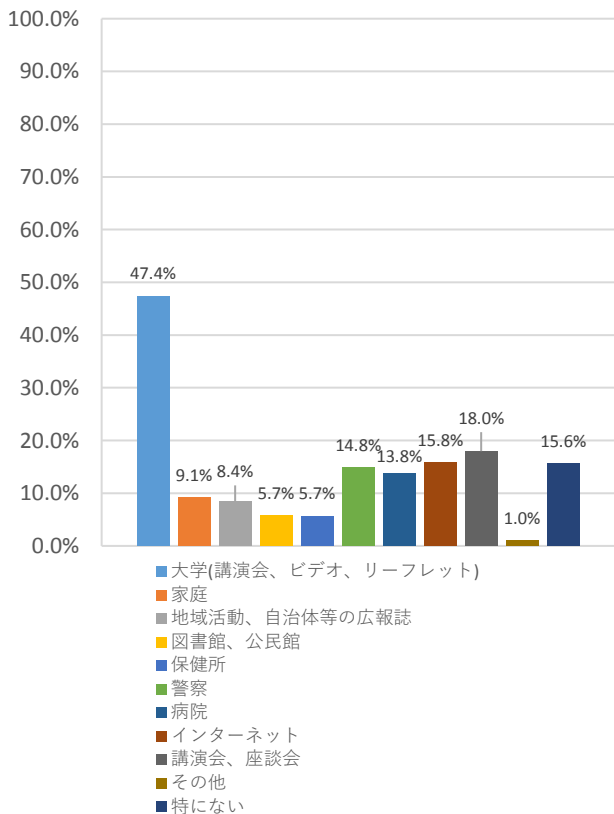
共通質問9 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数回答可) N=23833



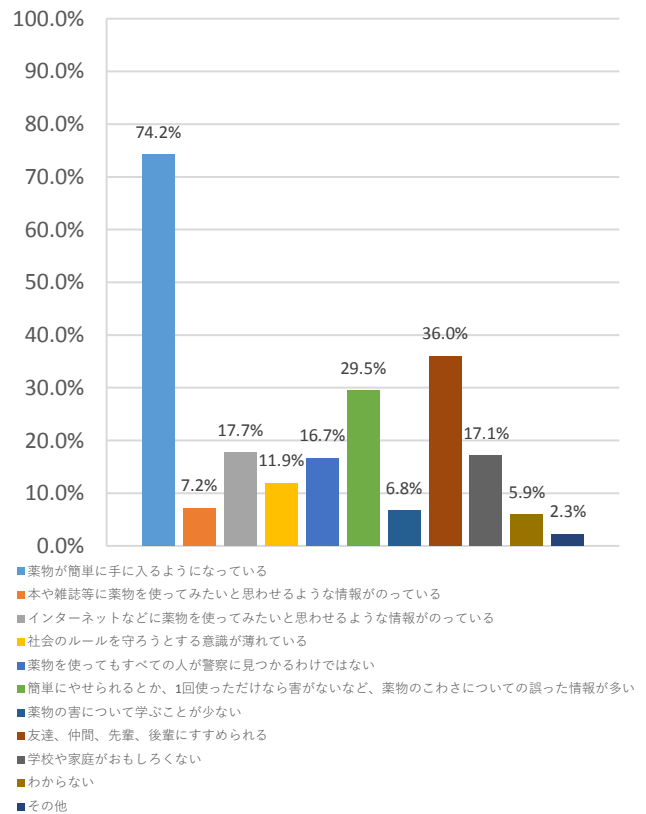
共通質問10 あなたは、これらの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○) N=23833



共通質問11 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可) N=23833

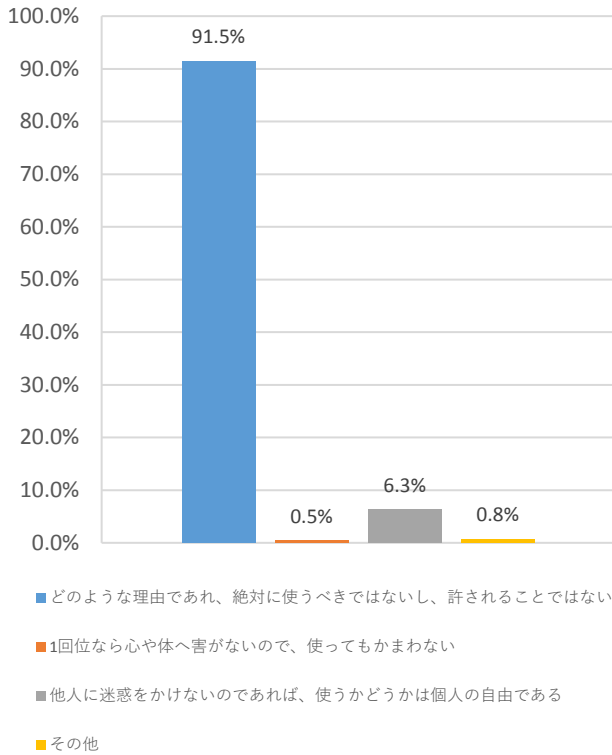


共通質問12 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数回答可) N=23833

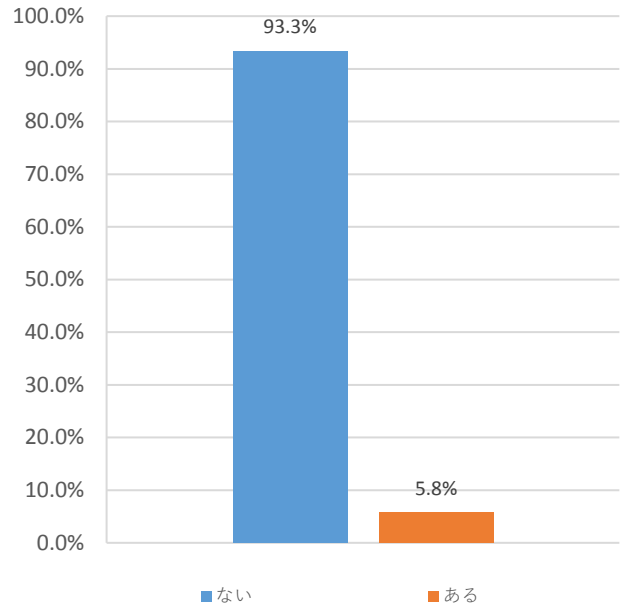


2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」

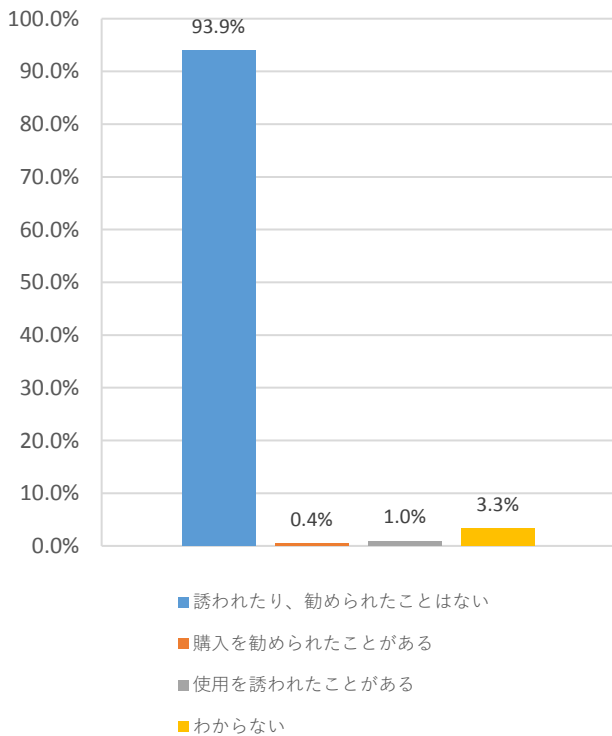
共通質問13 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)
N=23833



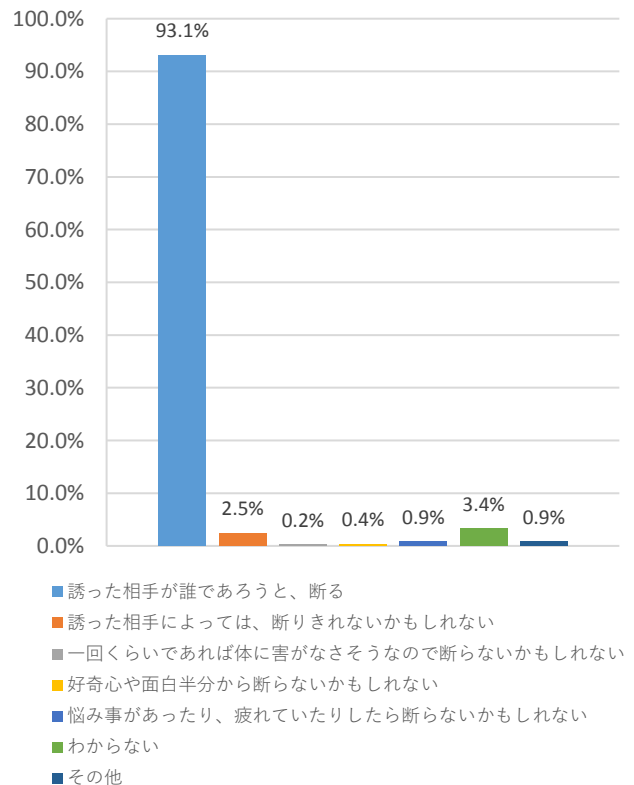
共通質問14 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。〈テレビ、映画、報道等で見たものは除きます〉(どちらかに○) N=23833



共通質問15 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)
N=23833

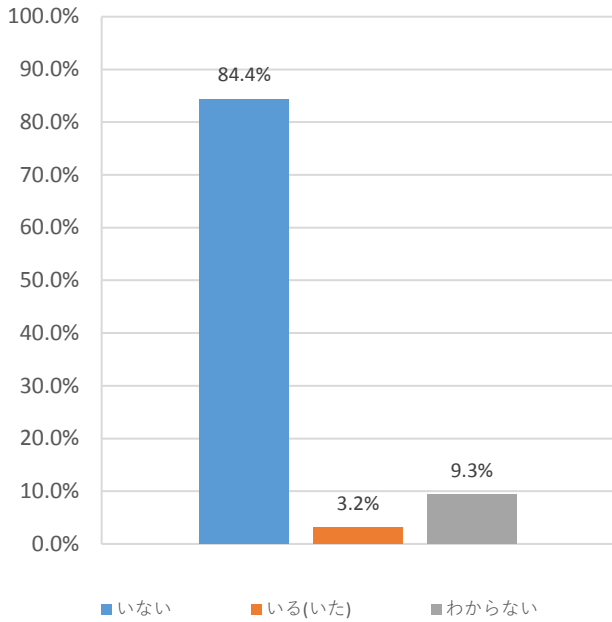


共通質問16 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可) N=23833

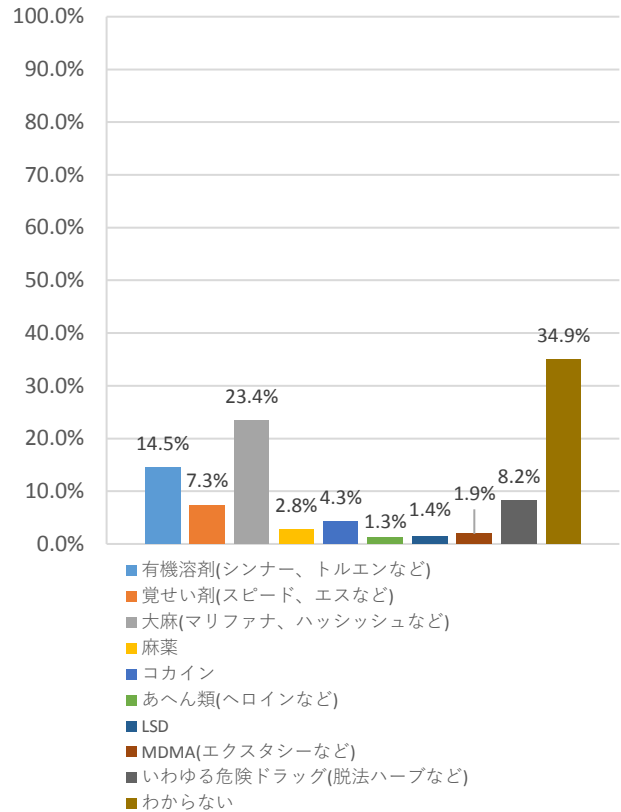


【質問17で「2」に○をつけた人だけお答えください】

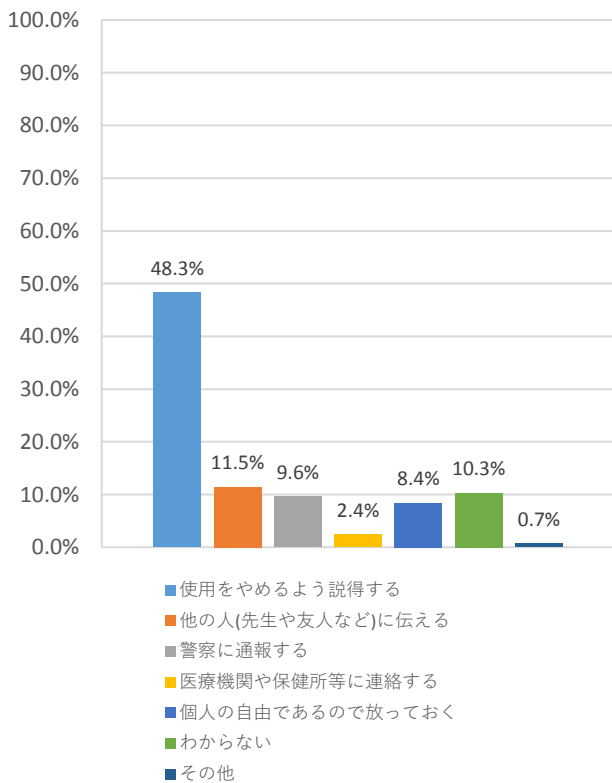
共通質問17 あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○) N=23833



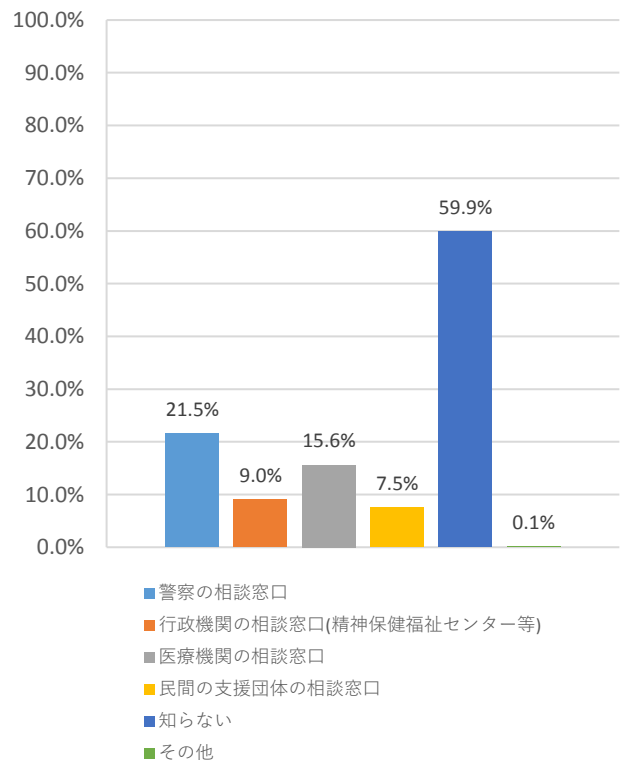
共通質問18 どの薬物でしたか。(複数回答可) N=1199



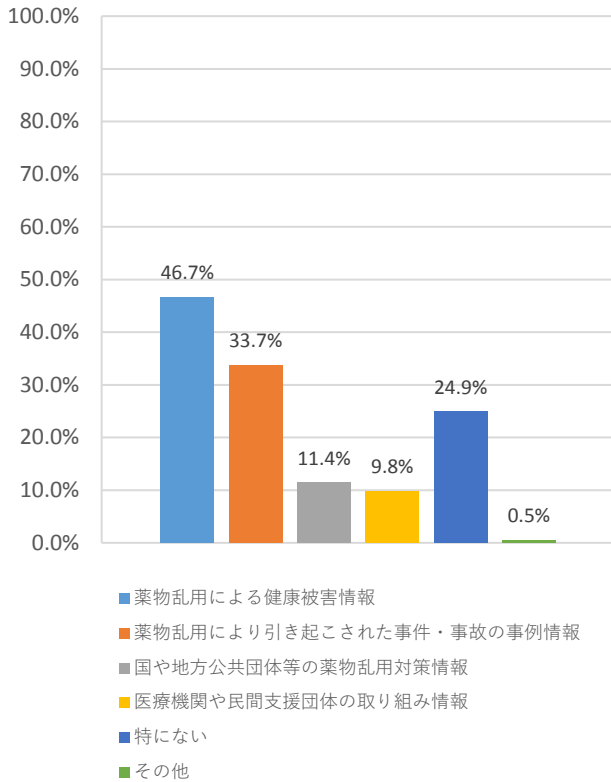
共通質問19 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つに○) N=23833



共通質問20 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可) N=23833

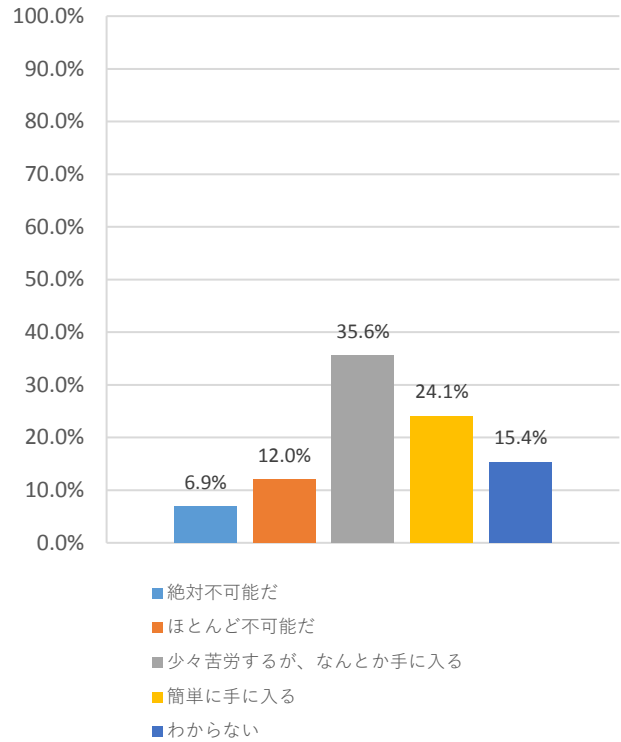


共通質問21 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。(複数回答可) N=23833

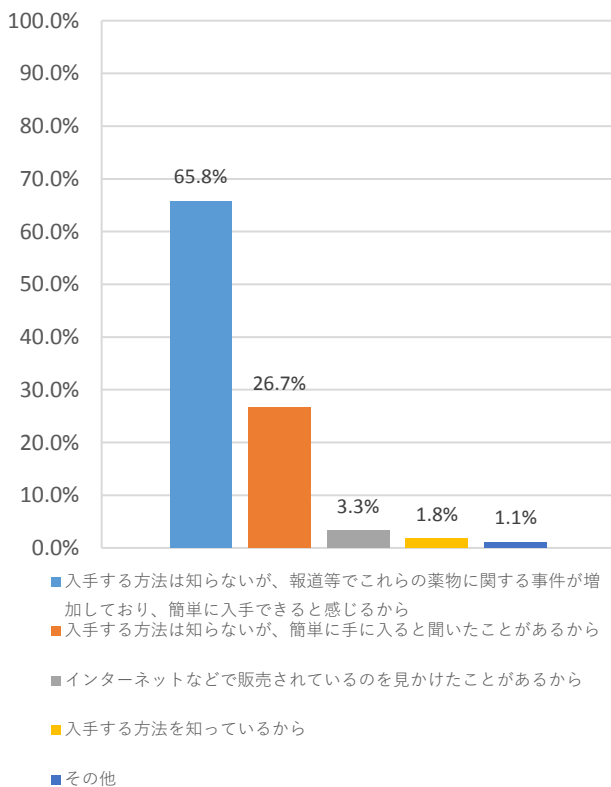


【質問22で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください。】

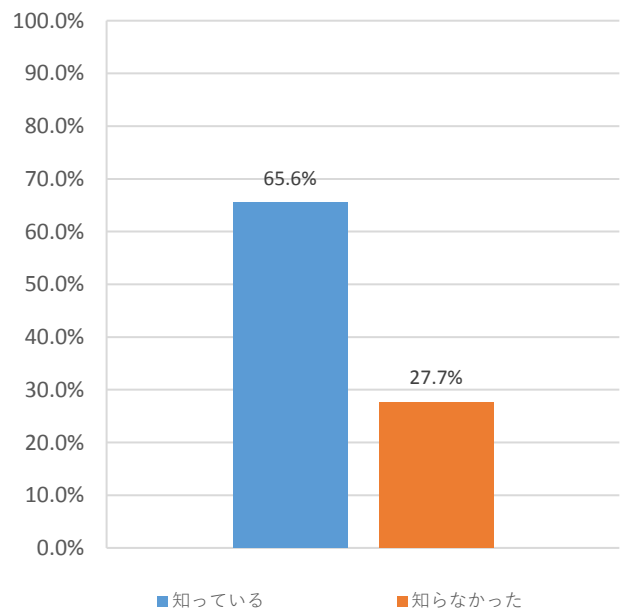
共通質問22 あなたは、これらの薬物を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいと考えていますか。(1つに○) N=23833



共通質問23 あなたが、手に入ると考える理由は何のようなことですか。(1つに○) N=14221



共通質問24 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○) N=23833



2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問1 あなたは、お酒を飲みたいと思いますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	飲みたいと思う	11254	47.2%	47%
2	飲みたいと思わない	7386	31.0%	31%
3	わからない	5138	21.6%	22%
	不明	55	0.2%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23778

共通質問2 あなたは、煙草を吸いたいと思いますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	吸いたいと思う	347	1.5%	1%
2	吸いたいと思わない	22564	94.7%	95%
3	わからない	896	3.8%	4%
	不明	26	0.1%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23807

共通質問3 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	非常に関心がある	662	2.8%	3%
2	ある程度関心がある	7708	32.3%	32%
3	どちらともいえない	5747	24.1%	24%
4	あまり関心がない	3568	15.0%	15%
5	ほとんど関心がない	6047	25.4%	25%
	不明	101	0.4%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23732

共通質問4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	18313	76.8%	-
2	覚せい剤(スピード、エスなど)	21717	91.1%	-
3	大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	21994	92.3%	-
4	コカイン	20059	84.2%	-
5	あへん類(ヘロインなど)	15710	65.9%	-
6	LSD	3905	16.4%	-
7	MDMA(エクスタシーなど)	16211	68.0%	-
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	17526	73.5%	-
9	知っているものはない	712	3.0%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

【次の質問以降は質問4であげた薬物についてお聞きします。】

共通質問5 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	カッコいい	68	0.3%	-
2	気持ち良くなれる気がする	1398	5.9%	-
3	ダイエットに効果がある	116	0.5%	-
4	眠気覚ましに効果がある	239	1.0%	-
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	105	0.4%	-
6	心や体に害がある	15664	65.7%	-
7	犯罪に巻き込まれる	13772	57.8%	-
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	15610	65.5%	-
9	1回でも使うと止められなくなる	16652	69.9%	-
10	特にない	2200	9.2%	-
11	わからない	443	1.9%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

共通質問6 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなると思いますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使ったり、持っていたりしたら罰せられるものもある	22343	93.7%	94%
2	1回使うくらいなら、罰せられることはない	35	0.1%	0%
3	持っているだけでは罰せられることはない	140	0.6%	1%
4	使ったり、持っていたりしても罰せられることはない	176	0.7%	1%
5	わからない	991	4.2%	4%
	不明	148	0.6%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23685

共通質問7 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	22869	96.0%	96%
2	なかった	849	3.6%	4%
	不明	115	0.5%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23718

共通質問8 あなたは、薬物を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	21914	91.9%	-
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	19969	83.8%	-
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	18725	78.6%	-
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	12758	53.5%	-
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	21156	88.8%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問9 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	小・中・高校の授業	22706	95.3%	-
2	大学が配布しているリーフレット等	567	2.4%	-
3	大学での啓発ビデオ	401	1.7%	-
4	大学での講演会	292	1.2%	-
5	友達、仲間、先輩、後輩	762	3.2%	-
6	家族	1250	5.2%	-
7	ポスター、パンフレット	4821	20.2%	-
8	本、雑誌	1686	7.1%	-
9	新聞	2433	10.2%	-
10	テレビ	11106	46.6%	-
11	ラジオ	228	1.0%	-
12	インターネット	3608	15.1%	-
13	携帯電話	868	3.6%	-
14	その他	98	0.4%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

共通質問10 あなたは、これらの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	知りたい	4036	16.9%	17%
2	知りたいとは思わない	8069	33.9%	34%
3	どちらでもない	11501	48.3%	49%
	不明	227	1.0%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23606

共通質問11 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	11292	47.4%	-
2	家庭	2180	9.1%	-
3	地域活動、自治体等の広報誌	2000	8.4%	-
4	図書館、公民館	1361	5.7%	-
5	保健所	1356	5.7%	-
6	警察	3538	14.8%	-
7	病院	3288	13.8%	-
8	インターネット	3755	15.8%	-
9	講演会、座談会	4282	18.0%	-
10	その他	239	1.0%	-
11	特になし	3716	15.6%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問12 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	17676	74.2%	-
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	1715	7.2%	-
3	インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	4214	17.7%	-
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	2846	11.9%	-
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3974	16.7%	-
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	7029	29.5%	-
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1618	6.8%	-
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	8579	36.0%	-
9	学校や家庭がおもしろくない	4074	17.1%	-
10	わからない	1417	5.9%	-
11	その他	539	2.3%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	21798	91.5%	92%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	113	0.5%	0%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1495	6.3%	6%
4	その他	183	0.8%	1%
	不明	244	1.0%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23589

共通質問14 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	22248	93.3%	94%
2	ある	1371	5.8%	6%
	不明	214	0.9%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23619

共通質問15 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	誘われたり、勧められたことはない	22390	93.9%	95%
2	購入を勧められたことがある	107	0.4%	0%
3	使用を誘われたことがある	230	1.0%	1%
4	わからない	777	3.3%	3%
	不明	329	1.4%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23504

共通質問16 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	22183	93.1%	-
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	592	2.5%	-
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	48	0.2%	-
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	84	0.4%	-
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	215	0.9%	-
6	わからない	803	3.4%	-
7	その他	210	0.9%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問17 あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	いない	20109	84.4%	87%
2	いる(いた)	754	3.2%	3%
3	わからない	2222	9.3%	10%
	不明	748	3.1%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	23085

【質問17で「2」に○をつけた人だけお答えください】

共通質問18 どの薬物でしたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	174	14.5%	-
2	覚せい剤(スピード、エスなど)	88	7.3%	-
3	大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	281	23.4%	-
4	麻薬	33	2.8%	-
5	コカイン	51	4.3%	-
6	あへん類(ヘロインなど)	15	1.3%	-
7	LSD	17	1.4%	-
8	MDMA(エクスタシーなど)	23	1.9%	-
9	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	98	8.2%	-
10	わからない	419	34.9%	-
	N(%ベース)	1199	100.0%	

共通質問19 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使用をやめるよう説得する	11520	48.3%	53%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2734	11.5%	13%
3	警察に通報する	2295	9.6%	11%
4	医療機関や保健所等に連絡する	579	2.4%	3%
5	個人の自由であるので放っておく	2012	8.4%	9%
6	わからない	2458	10.3%	11%
7	その他	172	0.7%	1%
	不明	2063	8.7%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	21770

共通質問20 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	警察の相談窓口	5129	21.5%	-
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	2146	9.0%	-
3	医療機関の相談窓口	3726	15.6%	-
4	民間の支援団体の相談窓口	1791	7.5%	-
5	知らない	14268	59.9%	-
6	その他	34	0.1%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

2016年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問21 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	薬物乱用による健康被害情報	11119	46.7%	-
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	8039	33.7%	-
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	2725	11.4%	-
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	2347	9.8%	-
5	特になし	5934	24.9%	-
6	その他	118	0.5%	-
	N(%ベース)	23833	100.0%	

共通質問22 あなたは、これらの薬物を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいと考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	絶対不可能だ	1638	6.9%	7%
2	ほとんど不可能だ	2855	12.0%	13%
3	少々苦勞するが、なんとか手に入る	8486	35.6%	38%
4	簡単に手に入る	5735	24.1%	26%
5	わからない	3659	15.4%	16%
	不明	1460	6.1%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	22373

【質問22で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください。】

共通質問23 あなたが、手に入ると考える理由はどのようなことですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	入手する方法は知らないが、報道等でこれらの薬物に関する事件が増加しており、簡単に入手できると感じるから	9354	65.8%	67%
2	入手する方法は知らないが、簡単に手に入ると聞いたことがあるから	3794	26.7%	27%
3	インターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	468	3.3%	3%
4	入手する方法を知っているから	251	1.8%	2%
5	その他	157	1.1%	1%
	不明	197	1.4%	
	N(%ベース)	14221	100.0%	14024

共通質問24 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	15627	65.6%	70%
2	知らなかった	6597	27.7%	30%
	不明	1609	6.8%	
	N(%ベース)	23833	100.0%	22224

※【注】(除不)とは、不明を除くの意味。